

陽の里



社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター サンビレッジ
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地
TEL (0585) 45-5545(代)
URL <https://www.sun-village.jp/>



No.156

テーマ 戻りつつある日常



戻りつつある日常



サンビレッジ新生苑

施設長 松野 祐樹

この度、令和5年4月よりサンビレッジ新生苑の施設長に就任致しました松野祐樹と申します。私たちのしんせい語録にもある「現場に神宿る」という言葉を大切にしながら、利用者の声に耳を傾け、職員と共に同じ方向を向きながら、現場から身近な施設長として職責を果たしたいと思えます。

さて、サンビレッジ新生苑では毎年4月にチューリップ祭を開催しております。学生による催し物や、屋台に並ぶ美味しい食事と共に、中庭に咲いた満開のチューリップを利用者、家族、そして地域の方々にも楽しんで頂ける行事となります。

しかし、ここ数年は新型コロナウイルスの流行に伴い、開催が見送られました。そのような状況下でも利用者の為にできる事をと、家族とのLINE面会や、催し物を各部署へネット中継したりと、離れていても繋がれる工夫をして参りました。

そして今年度、新型コロナウイルス5類への移行を目前に控え、3年振りのチューリップ祭を開催致しました。従来のように地域の方をお招きしての開催ではありませんでしたが、今いる利用者の方が楽しんで頂けるよう、満開に咲いたチューリップを眺めながら、美味しい食事と共に、戻りつつある日常に自然と笑顔も溢れていました。

がやがや学ぼう会

仲間と共に、学び合う

サンビレッジ宮路

チーフ 若原 紀子

「口腔ケア」「ターミナルケア」「コンチネンスケア」のテーマで、月に1回がやがや学ぼう会を開催しています。介護の基本の再確認と、日々行っている実践の中での悩みや困りごとを、がやがや話しながら解決の糸口を見つけることを目的としています。

その月のテーマに合わせた知識を学び、参加者同士がテーマに沿って気軽に自部署の取り組みや課題、自分の考えを発言し合い、わいわいがやがや語り合っています。普段、中々他部署の取り組みを見聞きする機会も少ない中、とても参考になります。昨年度はZoomのみの開催でしたが、今年度は体験も取り入れ実践力向上を目指した企画も予定しています。利用者の方の安心した生活を支えるために、今後も学び合える場を大切にしていきたいと思えます。

がやがや学ぼう会に参加して

グループホーム弥生

リーダー 森 美穂

がやがや学ぼう会への参加は、日々のケアの学び直し時間となつていきます。ターミナルケアの回では、死に対する考え方を学び合いい、今までご利用者、ご家族に対して「死」についての声掛けなどを基に学び直してすつきりしました。また、他部署の良い取り組みを知ることができ参考になります。参加後は自部署で共有し実際のケアにつなげることもできました。



認知症ケア研究会

「認知症」の人、ではなく

認知症の「人」

サンビレッジ新生苑

リーダー 三摩 要介

認知症ケア研究会は月に1度、認知症を有することで生じる生活課題について意見交換をおこなう、アクションプランへ繋げ事例を深める場です。

認知症を有している方は、記憶や見当識に障がいが生じることや日常生活に不安を感じておられますので、相手の立場で考えられることを基本とし、生活課題の解消を支援します。

私たちは介護のプロとして日々、このような研修や学びを通してケアの質を深め、認知症という「障がい」を見るのではなく、その「人」を観る事を大切にしていきます。

認知症ケア研究会に参加して

サンビレッジ新生苑

すずらん棟 寺井 佐環

今年度、認知症ケア研究会に

参加しています。他部署の事例を聞く事は自身のケアやチームケアの参考になります。私はコロナ禍により改めて家族の存在が大切である事を、事例を通して学びました。

面会が徐々に緩和される事で、顔を見てお会いできる機会も増えていくかと思えます。

私はご家族も本人を支えるチームの一員と考え、相互のコミュニケーションを通じて本人の支援を考えます。



「しんせい語録」の読み解き

新生グループには日めくりカレンダー「しんせい語録」があります。語録には介護現場で感じたことや字んたことへのヒントが掲載されています。



自己満足の仕事をしない

(株)新生メディカル高山営業所

萩原ステーション

野村より子

サービスタ付き高齢者住宅に入居しているKさんは両膝関節痛があり、令和3年11月頃からは右臀部から下肢にかけても痛みが出るようになりました。歩行器を使用して何とか移動していますが、自立心の強いKさんはそれでも出来ることは何とか自分でやりたいと、手伝って欲しいこと、欲しくないことをはっきりと言われます。

例えば、脱衣所から浴室への往復は手引き歩行ですが、少しでも手すりがある場所は「手すりに掴まっ行って」と一人で歩かれます。着衣も右足の痛みが強い時だけ「ちょっと履かせてもらえんか」と頼まれます。居室は、衣類などの片付けが出来ていない状態ですが「身体が楽な時に一緒に手伝ってもらうで今日はいいいよ」と言われ、

体調が良い時にヘルパーと一緒に片づけをされています。つい先回りし、手を出してしまいうそうになる私ですが、そうそう自己満足の仕事をしない！Kさんの思いを大切にしなければ、と思い留まることが出来ます。はっきり意思を伝えられるご利用者ばかりではないので、Kさんを通して自己満足への自戒と自立支援について省みる機会をいただけることに感謝しています。



vol.37

「サンデレミジの仲間たち」

音を通して街をつくる

シティタワーアンキーノ リーダー 高津 妙

岐阜シティ・タワー43は、赤ちゃんから高齢者の方までが暮らす、ひとつの街です。

私は介護に携わっていますが、週に何度か専門的に学んだ音楽を活かし、高齢者への音楽セッションや、0〜2歳児へのリズム遊び「おとみつけ」を担当しています。

「おとみつけ」はサンサン広場にあるグランドピアノを使い、子どもの奏でる楽器、保育士の声掛けや歌、身体の発達・動きをみる理学療法士のアドバイスのもと取り組んでいます。コロナ禍も、感染対策を取りながら実践してきました。

子どもはとても感情表現が豊かで、素直です。不快な時は泣き、怒ります。嬉しい、楽しい時は全身を大きく使ってジャンプ足踏みします。そんな様子をヘルパーさんとリハビリしながら散歩する住人の方や、懐かしいメロディーを聴いて鼻歌を歌われるご利用者もみえます。

これから目指す事は、継続して岐阜のまち、コミュニティへ音を通して社会貢献すること、質が保たれた音楽を専門職と共に提供すること、多様性を認めながら、音楽療法を必要とする人たちに適した音楽を届けられるよう、取り組んでいく事だと思っています。

音楽は目に見えませんが、こころや気持ちに直接作用します。よい音、ケアを岐阜の駅前から発信していけるように、今後も取り組みたいです。



Family's Voice 「利用者の声・家族の声」



もやいの家・津村
宇佐美滋子様
職員の方さんにはいつも良くしてもらっています。本当に感謝しています。娘にも「今日は「もやい」の日だったから良かったね」と電話で話しております。家では一人で暮らしていますが、「もやい」に行くと、顔なじみの方とおしゃべりが出来、いろいろな活動も出来るので、毎日でも利用したいくらいです。この年になってもこの様な楽しめる場所がある事は本当に幸いです。



アディカリ ジャンティ

介護職 宮路
笑顔を心がけ、思いやりのある介護士を目指します



林 莉央

介護職 瑞穂
利用者さんの思いに寄り添える介護士を目指します



カリンドウ ニシャディカ

介護職 新生苑
ひとつひとつの場面を丁寧に
関われる介護士になります



48期生 紹介

タヘル エムディ アブ

介護職 大垣
笑顔を心がけ、相手の立場で考えられる介護士を目指します



片田 玲奈

介護職 瑞穂
多くの方と関わり、信頼される介護士を目指します



岸田 捺瑠

管理栄養士 フーズ
食材管理を適切におこない、おいしい食事を提供します



パウデル レワティ

介護職 新生苑
利用者さんの気持ちに寄り添い、笑顔で接します



林 節也

作業療法学科教員
サンピ校
作業療法士の経験や、やりがいを学生に伝えます



スレスタ ディパ

介護職 瑞穂
思いやりの心を忘れず、笑顔の絶えない介護士を目指します



塚原 和人

介護職 白鳥
みなさんから信頼される介護士を目指します



ダルラミ スシル

介護職 新生苑
笑顔で優しい介護士を目指します



藤吉 和彦

事務局長
サンピ校
いままで得た知識と経験を活かし、教育の充実に努めます



バスネット ニサ

介護職 瑞穂
相手の立場で考え、困ったことを相談される介護士になります



野村 桃花

介護職 白鳥
みなさんから信頼される介護士を目指します



サルカロ エムディ シュイボ

介護職 新生苑
みなさんから頼りにされる介護士になりたいです

